

黒部市中教研 研究計画

会 長 城 寺 賢 二

会員数 60名

1 本年度研究の基本方針

各教科、特別の教科 道徳、特別活動等の実践的研究を推進し、自主性・創造性・社会性を重んじた中学校教育の活性化を図るとともに、自ら考え主体的に判断し行動できる資質や能力と互いに認め合い励まし合う豊かな心を身に付け、たくましく生きる生徒の育成を目指す。

- (1) 指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見通し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- (2) 基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実を図る指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- (3) 生徒の自主的・自発的な学習活動を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- (4) 指導計画や指導方法の改善に生かすため、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一体化に努める。
- (5) 研究の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

| 番号 | 部会名 | 部員数 | 研 究 主 題 |
|----|-----|------------|---|
| 1 | 国 語 | 7 (重複3) | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語の資質・能力を育てる指導と評価はどうあればよいか。 -身に付けさせたい資質・能力を明確化した授業づくりと指導に生かす評価- |
| 2 | 社 会 | 6 | 社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるには、どのようにすればよいか。 -「課題を追究したり解決したりする活動」の工夫- |
| 3 | 数 学 | 6 (重複1) | 数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善はどうあればよいか。 |
| 4 | 理 科 | 7 (重複1) | 理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 -生徒が自然の事物・現象や社会との関わりの中で得た気付きから疑問を形成し、主体的に課題を把握・設定することを目指す指導の工夫- |
| 5 | 音 楽 | 3 | 幅広い音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 -「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習指導- |
| 6 | 美 術 | 3 | 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習活動はどうあればよいか。 -資質・能力を育成するための〔共通事項〕の指導の在り方- |
| 7 | 保 体 | 8 (重複1) | 体育や保健の課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現を目指そうとする生徒を育てるための学習指導はどうあればよいか。 -「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善- |

| 番号 | 部会名 | 部員数 | 研 究 主 題 |
|----|---------------|------------|--|
| 8 | 技術・家庭 (技術) | 2 | 「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活や社会にいかすための問題解決的な学習の充実－ |
| 9 | 技術・家庭 (家庭) | 2 | 「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 －生活や社会にいかすための問題解決的な学習の充実－ |
| 10 | 英 語 | 5 (重複3) | コミュニケーション能力を養うにはどのように指導したらよいか。 －聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して－ |
| 11 | 道 徳 | 6 (重複) | 主として集団や社会との関わりに関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳科の授業はどうあればよいか。 －主として集団や社会との関わりに関すること－ |
| 12 | 特別活動 | 6 (重複) | 学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 |
| 13 | 特別支援 教 育 | 9 | 特別な支援を必要とする生徒の能力や可能性を伸ばし、自立と社会参加を推進する指導はどうあればよいか。 －生徒一人一人の思いや願いを生かし、成就感や達成感を高める指導過程と評価の工夫－ |
| 14 | 保 健 | 2 | 生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む資質・能力を育てるには、どのようにすればよいか。 －心身の健康について理解を深め、健康な生活を自ら選択し、実践する生徒の育成－ |

3 年間計画の概要

| 月 | 会 合 名 | 会 場 | 内 容 |
|----|---------------------------|------------------------|---|
| 4 | 協 議 会 部 会 全 体 研 修 会 | 明 峰 中 学 校 | 令和7年度事業・決算報告 令和8年度役員・事業・予算等の審議、承認 研究組織・研究主題・年間計画の作成 |
| 6 | 部 会 | 清 明 中 学 校 明 峰 中 学 校 | 教材研究、研究の視点の明確化、 指導案の検討、授業研究、事後研究等 |
| 9 | 部 会 | 清 明 中 学 校 明 峰 中 学 校 | 教材研究、指導案の検討、授業研究、事後研究、 発表資料の検討等 |
| 10 | 中学校教育課程研究大会 | 各 会 場 | 授業研究、研究発表と協議等 |
| 1 | 部 会 全 体 研 修 会 | 明 峰 中 学 校 | 研究のまとめと反省、研究紀要の作成 講演会 |
| 2 | 協 議 会 | 清 明 中 学 校 | 令和8年度事業経過・会計中間報告 本年度研究のまとめと反省 |

4 留意事項

- (1) 県中教研の計画を踏まえ、研究の継続性を重視しながら、実践的・組織的研究を推進する。
- (2) 中学校教育課程研究大会が開催される数学部会、特別活動部会での研究がより充実するよう努める。